



蒲生中学校便り

「精いっぱい」

令和7年6月号
始良市立蒲生中学校

「学校教育目標」：自ら考え、判断し、主体的に行動できる生徒の育成



目的を達成するためには・・・

校長 富永 英明

梅雨の時期にもかかわらず、例年以上に暑さが厳しくなり、熱中症が心配される中、生徒は落ち着いた学校生活を過ごしております。6月上旬に開催された始良・伊佐地区総合体育大会では、県大会出場を決めた弓道部や女子バスケットボール部をはじめ、どの部活動も精いっぱい試合に臨む姿がみられ、大変嬉しく思うことでした。先日には前期中間テストが終わりました。



さて、学校では年間を通して多くの行事が計画されています。7月には2年生の修学旅行や1年生の宿泊学習、そして合唱コンクールと行事が盛りだくさんです。それぞれの行事には目的がありますが、1つの行事を行うにあたり、その行事の目的をしっかりと理解して取り組むのと目的をあまり理解せずに取り組むのでは、大きな違いがあります。例えば来月開催予定の合唱コンクールには、次のような目的があります。

学級全員で協力しながら取り組むことで、学級の一員としての仲間意識が強くなります。また、協力してやり遂げる経験を通じて、成功体験が得られ、自己肯定感が向上することが期待されます。さらに、決められた時間の中で、目標に向かって段階的に練習計画を立てて実行することから、計画的に実行する力が身に付きます。他にも合唱をすることで音楽の楽しさ、他の学級の合唱を鑑賞することで、マナー等の向上も期待できます。このように1つの行事には多くの目的がありますが、これらの目的を達成するために最も大切なことは「**この目的を達成するために私は〇〇に取り組むぞ**」という明確な意志を持って行動することだと思います。他人に言われたからやる、やらないと怒られるからやるでは、目的を達成する可能性は低くなると思います。全ての目的を達成することは難しいことですが、目的をしっかりと理解して**主体的に(=自分の意志や判断に基づいて行動すること)**取り組むことで、行事を終えたときの成長に大きな差が生まれるのではないのでしょうか。蒲生中の生徒の皆さんが、1つ1つの行事を通して大きく成長してくれることを願っています。